

高齢社会への対応を探る会主催

高齢になっても安心して

暮らし続けるために

一どんなサービス・施設があるかー

9月27日(土) 13:30~

けやきプラザ・2Fふれあいホール

先月チラシを配布しました。ご家族、友人をお誘いの上、多数ご参加ください。

宇都宮健児弁護士の講演会終了

8月30日、180人の入場者で、宇都宮弁護士のお話を聞きました。

サラ金は1400万人が利用し、200万人を超える多重債務者が存在する日本。ヤミ金融もまだ被害者がいて、行き詰まった人の自殺も後を断たない。死ぬしかないと思わせるような取り立ての電話、電報の実例も。

200万人のうち、弁護士会や司法書士会に助けを求めて来るのがまだ40万人ほど。

一方で、紹介屋、整理屋、提携弁護士などの二次被害者もいるとのこと。「解決できない借金は無い。きちんとした相談先にまず相談をすること。命を捨てるな」と熱く語られました。また政治の問題としてワーキングプア対策が早急に必要とも。

111名の方がアンケートを提出され、全員が講演を「良かった」とされました。以下に自由記入の中からいくつかを抜粋しました。

.....

(20代)

・今まで知らなかった事がたくさんあり、知らないことで、生活をおびやかされた部分が多々あったの

で、本当に安心して生活できる方法を知ることが出来て良かったです。今、現在取り立て業者の書類が届いてるんですが、一步一步かいつつしていきたいと思いました。

・法的にどこまで払って、どこはやらなくていいか、素人にはわからない事が多くあるので、こうして情報を得られると本当に助かります。先生のおっしゃる通り、学校でも社会に出ても教えてもらえないので、被害が多く大きくなっていると思います。いいかげんな情報(整理屋とか)やサギが多くて本当に悩んでいる人をよけい苦しめる形になっているので、このような講義にもっと参加したいです。

(30代)

・自治体も滞納者に対して取り立てるだけでなく、多重債務の可能性を踏まえて対応することが必要だという事。・絶対に諦めないこと・泣き寝入りしないこと・法的な知識の重要性・相談窓口の明確化。ありがとうございました。

(50代)

①借りる情報はあふれているが、返し方、防止、相談については教えられていない。TVの社会的役割の欠如が問題である。②「借りた人の自己責任」という社会風潮を見直していかなければいけない。③知識では10日4割、5割の計算は出来るが、具体的事例ですごくリアルに伝わってきた。④不景気になって来るとだれでもカードローンの被害者になる可能性がある。今回のことは友人知人に教えようと思った。

.....

中には、先生の顔が仏様に見えた、と書かれた方もありました。当日の資料を欲しい方は、各地区の役員等に請求してください。

10月定例会

10月6日(月) 13:30~16:00
我孫子南近隣センター 8F調理室
定例勉強会 「レジ袋有料化への道」
イオン(株)環境・社会貢献部長の話から

他団体の催し紹介

- ①シニア世代歓迎の集い 9月28日(土)
12:30~16:30 我孫子南近隣センター9F
講演 山口繁氏(元最高裁長官・若松在住)
その他「劇」「交流会・懇親会」
主催 我孫子市民活動ネットワーク
- ②ECOスパイラルLIFE 今、私たちに
できること 9月28日(日)13:30~16:00
第三小学校体育館 申込み ハガキで
我孫子3-28-15 西武観光内 実行委員会へ
a 講演 野口健氏(登山家)
b 子どもサミットinあびこ
主催 我孫子青年会議所
消費者の会から緑のカーテンのパネル展示
- ③手賀沼流域フォーラム
10月18日(土) 10:00~15:00 親水広場
講演 手賀沼流域の生き物 浅間茂氏など
- ④加盟団体の活動を知るための学習交流会
11月2日(日) 14:40~16:30 親水広場
主催 美しい手賀沼を愛する市民の連合会

お米を食べて田んぼを守ろう

9月の定例会で、会員であびこプレーパークの会の高橋友美さんと原嶋彩子さんに、表題のパネルシアターを演じていただきました。

白黒写真では可愛い絵の全てがお伝えしきれないで残念です。これは、小学校5年生の授業で使うことを想定して作られました。お二人の息の合った掛け合いが楽しくとても内容の深いものでした。あらすじを以下に。

1 ヒトに適した食べ物なあに？

主役はコメ子とコムギ。ヒトは大昔から何を食べて生き延びて来たんだろう。動物と違う歯や爪や顎を比べ、臼歯の数やデンプン分解酵素も持っているヒトには穀物が大切と結論。

2 日本人に適した食べ物なあに？

世界地図から日本とヨーロッパの緯度を比べ、ヨーロッパは米ができない地域であること。米のタンパク質は量は少ないけど質がいい。大豆と組み合わせると最高。小麦のタンパク質は質が落ちるので、肉や牛乳で組み合わせてきた。ヒトはその土地や風土に合わせて生きてきた。日本の風土にはお米と結論。

3 お米が食べたい 田んぼを作ろう

栽培すると1粒の米は2000粒に。新田開発や棚田を築き、稲作文化を作ってきた日本。なのに、だんだんコメを食べなくなって、減反・減反・減反……。

4 お米を食べて 田んぼを守ろう

食生活の変化が招いた米離れ。洋食は脂質が増える。洋食は自給率が下がる。一人一日一杯のお米を増やせば……。献立に迷ったときはまずご飯。外食するならご飯のメニュー。弁当買うならおにぎり、おいなり……。

拍手、拍手で終わりました。

若い方達のこの取り組みをもっともっと多くの人に見てもらいたいと思いました。